

告示	番号	66	慢性心疾患
	疾病名	バルサルバ洞動脈瘤	

バルサルバ (Valsalva) 洞動脈瘤

ばるさるばどうどうみゃくりゅう

概念・定義

先天的に支持組織の脆弱性により Valsalva 洞の一部が右室もしくは右房に瘤状に突出している。漏斗部心室中隔欠損に大動脈弁とバルサルバ洞が落ち込み、バルサルバ洞の拡大と弁の逸脱をきたしたことが多い。心室中隔欠損はバルサルバ洞で閉鎖されていることもある。大動脈弁の変形から閉鎖不全をきたすことがある。またバルサルバ洞が右室など交通を作ることがある（バルサルバ洞破裂）。破裂すると、突然の胸痛とともに、左右短絡をきたす。手術適応である。

症状

破裂前は無症状。破裂すると、突然の胸痛、呼吸困難、動悸、うっ血性心不全をきたす

治療

Valsalva 洞動脈瘤破裂はシャント量が少量であっても手術適応である。右房あるいは右室経路で Valsalva 洞動脈瘤の突出部を切除しパッチ閉鎖する

抜粋元：http://www.shouman.jp/details/4_58_79.html